

## 代幾 I 演習 (2007/06/28)

問題 120 2 行 2 列の行列  $A = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} \\ a_{21} & a_{22} \end{pmatrix}$  が、二つの縦ベクトル  $x = \begin{pmatrix} a_{11} \\ a_{21} \end{pmatrix}$ ,  $y = \begin{pmatrix} a_{12} \\ a_{22} \end{pmatrix}$  を用いて、 $A = (x, y)$  と表されている時、次の問に答えなさい。

1.  $a_{21} = 0$  ならば、 $|A| = a_{11}a_{22}$  であることを示しなさい。
2. 任意の実数  $c$  に対して、 $\det(x - cy, y) = |A|$  であることを示しなさい。
3. 2 行 2 列の行列  $B = \begin{pmatrix} b_{11} & b_{12} \\ b_{21} & b_{22} \end{pmatrix}$  が、上記のベクトル  $x, y$  を使って、 $B = (x - \frac{a_{21}}{a_{22}}y, y)$  と表されている (ただし、 $a_{22} \neq 0$  とする) 時、 $B$  の各々の要素  $b_{ij}$  の値を  $a_{ij}$  を用いて表しなさい
4. 行列  $C = \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \end{pmatrix}$  に対して、 $|D| = |C|$  を満たし、 $D = \begin{pmatrix} x & 2 \\ 0 & 4 \end{pmatrix}$  となるような  $x$  を求めなさい。また、この時、 $|D|$  と  $|C|$  の値をそれぞれ求めなさい。

問題 121 3 行 3 列の行列  $A = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} & a_{13} \\ a_{21} & a_{22} & a_{23} \\ a_{31} & a_{32} & a_{33} \end{pmatrix}$  が、三つの縦ベクトル  $x = \begin{pmatrix} a_{11} \\ a_{21} \\ a_{31} \end{pmatrix}$ ,  $y = \begin{pmatrix} a_{12} \\ a_{22} \\ a_{32} \end{pmatrix}$ ,  $z = \begin{pmatrix} a_{13} \\ a_{23} \\ a_{33} \end{pmatrix}$  を用いて、 $A = (x, y, z)$  と表されている時、次の問に答えなさい。

1.  $a_{21} = a_{32} = a_{31} = 0$  ならば、 $|A| = a_{11}a_{22}a_{33}$  であることを示しなさい。
2. 任意の実数  $c$  に対して、 $\det(x - cy, y, z) = |A|$  であることを示しなさい。
3. 3 行 3 列の行列  $B = \begin{pmatrix} b_{11} & b_{12} & b_{13} \\ b_{21} & b_{22} & b_{23} \\ b_{31} & b_{32} & b_{33} \end{pmatrix}$  が、上記のベクトル  $x, y, z$  を使って、 $B = (x, y - \frac{a_{32}}{a_{33}}z, z)$  と表されている (ただし、 $a_{33} \neq 0$  とする) 時、 $B$  の各々の要素  $b_{ij}$  の値を  $a_{ij}$  を用いて表しなさい。
4. 行列  $C = \begin{pmatrix} -4 & -3 & -2 \\ -1 & 0 & 1 \\ 2 & 3 & 4 \end{pmatrix}$  に対して、 $|D| = |C|$  を満たし、 $D = \begin{pmatrix} u & -\frac{3}{2} & -2 \\ 0 & v & 1 \\ 0 & 0 & 4 \end{pmatrix}$  となるような  $u, v$  を求めなさい (このような、 $u, v$  の組は、一組とは限らないが、どれか一つを求めればよい。)。また、この時、 $|D|$  と  $|C|$  の値をそれぞれ求めなさい。

問題 122 行列  $A$  と  $x, y, z$  が  $Ax = \begin{pmatrix} 3 \\ 2 \\ -1 \end{pmatrix}$ ,  $Ay = \begin{pmatrix} 1 \\ -3 \\ 2 \end{pmatrix}$ ,  $Az = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ -3 \end{pmatrix}$ , を満たすとき  $A(-x + 2y + z)$  を求めよ。

問題 123 2 行 2 列の行列  $A = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} \\ a_{21} & a_{22} \end{pmatrix}$  に対して、 ${}^tA = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{21} \\ a_{12} & a_{22} \end{pmatrix}$  を行列  $A$  の転置行列と呼ぶ。この時  $|A| = |{}^tA|$  であることを示しなさい。

問題 124 3 行 3 列の行列  $A = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} & a_{13} \\ a_{21} & a_{22} & a_{23} \\ a_{31} & a_{32} & a_{33} \end{pmatrix}$  に対して、 ${}^tA = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{21} & a_{31} \\ a_{12} & a_{22} & a_{32} \\ a_{13} & a_{23} & a_{33} \end{pmatrix}$  を行列  $A$  の転置行列と呼ぶ。この時  $|A| = |{}^tA|$  であることを示しなさい。

問題 125 行列  $A$  の複素共役行列を、 $\bar{A}$  で、表すとする。この時、次の定理を証明せよ。

1.  $\overline{\bar{A}} = A$
2.  $\overline{A + B} = \bar{A} + \bar{B}$
3.  $\overline{cA} = \bar{c}\bar{A}$
4.  $\overline{(AB)} = (\bar{A})(\bar{B})$

問題 126 行列  $A$  の転置行列を  ${}^tA$ , 複素共役行列を、 $\bar{A}$  で、表すとする。この時、次の定理を証明せよ。

1.  ${}^t({}^tA) = A$
2.  ${}^t(\bar{A}) = \overline{{}^tA}$
3.  ${}^t(A + B) = {}^tA + {}^tB$
4.  ${}^t(cA) = c{}^tA$
5.  ${}^t(AB) = {}^tB{}^tA$

問題 127 三次元空間の二つの直線  $l_1, l_2$  がそれぞれ、点  $P_1, P_2$  ( その位置ベクトルは、 $p_1, p_2$  とする ) を通り、ベクトル  $a_1, a_2$  に平行である時、この二つの直線の距離を、ベクトル  $p_1, p_2, a_1, a_2$  を用いて表せ。